

景気動向指数  
平成 25 年 6 月分（速報）の概要

6月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：107.0、一致指数：105.2、遅行指数：110.6となった。（注）

先行指数は、前月と比較して3.7ポイント下降し、7ヶ月ぶりの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.27ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.04ポイント上昇し、6ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.8ポイント下降し、7ヶ月ぶりの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.26ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.65ポイント上昇し、4ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.46ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、上方への局面変化を示している。

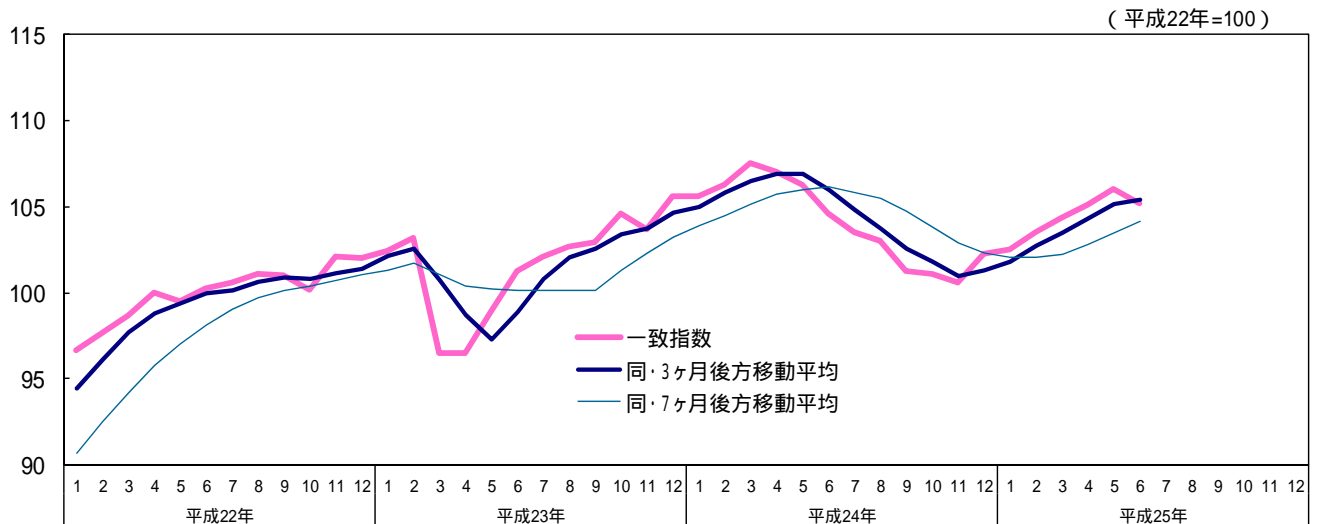
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.22	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.30
C3：大口電力使用量	0.09	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.28
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.07	C1：生産指数(鉱工業)	-0.25
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.00	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.23
		C4：耐久消費財出荷指数	-0.09
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.03
		C9：営業利益(全産業)	-0.04

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。